

CAMD セミナー

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia)

脳画像データベースから見る脳の発達と加齢

東北大学加齢医学研究所
機能画像医学研究分野 教授

瀧 靖之 先生

平成 26 年 1 月 16 日(木) 午後 5 時 00 分～
東棟 2 階会議室

日本が直面している超高齢化社会において、脳の病的な加齢を可能な限り抑えることは重要である。我々はおおよそ 3000 人、5 歳～80 歳の健康小児～高齢者の脳 MRI、認知力、生活習慣、遺伝子等のデータを収集し、横断的、縦断的な脳画像データベースを作成している。これらのデータを用いて、いわゆる中間表現型としての脳 MRI 画像を用いた健全な脳発達、加齢を明らかにし、更にどのような要因が脳発達、加齢に影響を与えるかを明らかにしてきた。これらの結果は、生涯にわたる健康脳の維持に対して有用な知見と考えられる。今回の講演では、これらの研究成果を発表すると共に、今後の展望についても述べたい。更にこれらの研究の発展型ともなり得る、東北大学東北メディカル・メガバンク事業における約 3 万人の脳 MRI 事業に関しても紹介したい。

連絡先:放射線診療部/脳機能画像診断開発部
部長 伊藤健吾(内線 7503)